



会報ひまわり

2018年4月
第57号

～第57号発刊によせて～

ひまわりの会の皆さま、お元気でお過ごしのことと思います。

3月に入ってからは、日差しも心地よく春一番の風も吹き寒さでうなだれていたクリスマスローズや沈丁花の香りもほのかに匂い元気を取り戻し春を告げてくれました。4月入り桜が一斉に咲き、早くも夏のような暑さと共に新年度がスタートしました。



会長
北爪 保枝

1月27日（土）健康づくり財団近くの龍遊亭においてひまわりの会有志で、新年の会をいたしました。会員の皆さまと美味しい料理と笑顔の楽しい一時を過ごすことができました。

2月8日（木）9日（金）には、群馬県庁南ホールで、群馬県がん患者団体連絡協議会主催の「がんと向き合う作品展」が開催され、多く皆さまにひまわりの作品を見ていただきました。私たちひまわりの会からも35点ほどの作品を出展いたしました。

6月21日（木）22日（金）には、第36回「全国よろこびの会総会」が、山形県天童温泉 天童ホテルで開催されます。今年で最後の総会となります。私たちひまわりの会も参加しますので、会員の皆さまも体調に合わせて是非参加されますようお願いいたします。

今後は引き続き各支部ごとの活動となります。ひまわりの会も今後皆さまと共に更なる活動をして参りましょう。よろしくお願いいたします。

今年も秋にかけて、リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 ぐんま・がん征圧共同キャンペーンなど多くの行事があります。体調に合わせて参加をお願いします。

また、秋の親睦旅行も楽しみですね。そしてお互いの不安を話し合える茶話会にも気軽に参加してください。笑顔の楽しい会です。

ひまわりの会は、「がん征圧、がん予防、早期発見・早期治療」に関する啓発活動を行い、ひとりでも多くの方々にがん検診の重要性を訴えることが責務であると考え日々努力しております。そしてこのような会の活動が出来るのは、群馬県健康づくり財団の深いご理解とご支援、また事務局の皆さまの温かいお心遣いがあればこそと会員一同感謝しております。

今年度も会員の皆さま、ご協力よろしくお願いいたします。

これからまだ寒暖の差がございます。ご自愛ください。



平成 29 年度 秋の親睦旅行



～ 日光・鬼怒川へ～ 齊藤文子

今回の秋の親睦旅行は、40年ぶりに大修復された「世界遺産」日光東照宮の見学でした。まず驚いたのは外国人観光客の多さです。

手すりを頼りに急な石段を上がり最初に目にしたのは、「国宝」の陽明門です。日に映えた陽明門が色鮮やかで美しく、おもわず目を見張りました。

人間の一生を風刺しているという猿の彫刻が8面あるうちのひとつ、あまりにも有名な「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿が修復前とくらべ目が丸くなりすぎた、顔の色が白すぎると話題になっていましたが、それほどの違和感を感じませんでした。顔の白さは純真無垢を表しているとか。

拝殿の見学は段差がありすぎて、思わず足元がふらついてしまいました。

緑石に腰を下ろして、投げ出した足をさすっている外国人の一団が目にとまりました。年配のものには日光はきつすぎると実感しました。

帰り際、もう一度陽明門を見上げて思いました。これが最後、そしてこれが見納めになるだろうと自覚しました。

手すりにしがみつきながら石段を下りきった時には本当にホッとしました。そこからバスの待つ駐車場までの参道をおしゃべりをしながらの、そぞろ歩きは楽しいものでした。

この日の宿、鬼怒川の「一心館」は好みの浴衣が選べるとのことで、皆好きな色の浴衣の袖を通しました。簡単にできている浴衣帯は、会長が後ろでやさしく結んでくれました。

旅行は、11月9日・10日と時期的には紅葉が真盛りの筈なのに、川沿いに建つ宿の対岸の木々も、窓から見える山々もまったく色づいていませんでした。夏の天候不良の長雨がたたってしまったようです。

2日目はロープウェイで山頂の「おさるの山」へ登ったのですが、乗降口までが又石段です。ロープウェイは山頂まで一気に駆け登り、其処からちょっと歩けば檻の中の猿が見られるのに、もう一歩も足が動きません。

展望台から眼下を見れば雄大に広がる景色の中に、旅館・ホテル等が一つの白い塊りとなって見えました。前方のはるか彼方、まるで透き通っているのかと見紛う程の山並みと、その稜線とがそれはそれはきれいに見えました。

日光の三大みやげ、カステラ・ゆば・漬物を買って揃え、紅葉が見られなかった無念さは日光に残し、楽しかった余韻を乗せたバスは時間通り財団に到着です。この旅行で又、良い思い出を作ることが出来ました。楽しかった日光・鬼怒川の旅でした。



右から2番目が齊藤さん



ひまわりの会のあゆみから

藤井 稔栄

私は、平成9年8月に高崎の病院で、胃がんの手術をして20年経過しました。途中は抗がん剤等で苦しんだ日もありましたが、今日まで元気で頑張っています。

ひまわりの会には、平成9年11月に入会しました。

ところで、このひまわりの会は、昭和55年9月26日に群馬県下のがん克服者の方が集い当時の群馬県対がん協会の支援で結成、発足しました。

ひまわりの会では年間で、次のような活動しています。

・総会・役員会・全国よろこびの会総会出席（よろこびの会総会は、平成30年6月の山形県での開催が最後になります。・会報「ひまわり」の発行・親睦旅行・新年会・定例会（毎月最終火曜日）

また、平成19年3月24日に群馬県がん患者団体連絡協議会が発足し、がん予防と早期発見の推進、医療、ケアの向上にむけた活動をしています。加盟団体は、ひまわりの会・生菜（ぶな）の会・群馬ホスピスケア研究会・群馬がん看護研究会・あけぼの群馬・1.2の3で温泉に入る会群馬・笑みの会・群馬あかぎ互療会・群鈴会・伊勢崎ひまわりの会・群大重粒子医学センター友の会・みゅらりっぷ・あおばの会が加盟しています。

がん連協のスタートにより、リレー・フォー・ライフ・ジャパングんまと作品展にも参加しています。

ひまわりの会も結成して33年になりますが、ひまわりの会の事務局が、群馬県健康づくり財団内にあり、財団のあたたかいご支援でこれまで会を継続できたことに心より感謝申し上げます。

私もどんな形でも、がん患者の一人としてこの活動を続けていきたいと思っています。



平成29年度 活動記録



「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017ぐんま」

平成29年10月7日（土）～8日（日）、ALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドで行われたリレー・フォー・ライフに参加しました。

今年で5回目の参加となります。

定例会ではなかなかお会いできない会員さんも参加いただき、今年もひまわりの花がいっぱいのフラッグを持ち2日間がんばって歩きました。

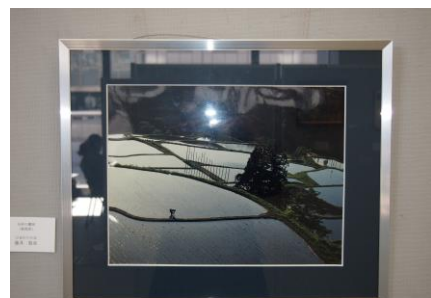


リレー・フォー・ライフの様子

「 がんと向き合う作品展 」

平成 30 年 2 月 8 日（木）～9 日（金）群馬県庁県民ホールで、群馬県がん患者団体連絡協議会主催の作品展が開催されました。

ひまわりの会の会員さんからも約 35 点の作品を出展しました。とても寒い 2 日間でしたが、サロンスペースのホスト役も積極的に勤めました。



～ 一緒に活動しませんか ～

ひまわりの会は、がんを患った方やその家族で構成されています。同じ体験をしたもの同士で、気兼ねなく何でも話し、励ましあっています。月に一度、定例会を開催しています。ひまわりの会へのご入会、お問い合わせはお気軽に事務局にご連絡ください。

ひまわりの会事務局（群馬県健康づくり財団内） 電話：027-269-7811